

# 既存樹植え替え作業（バラの移植をする作業です。）

## 作業目的

5年以上同じ場所に植え付けられていて、花つきが悪くなったり、シュートの出方が悪くなった株に行う作業です。

移植をする事で、古い根を切り、新しい根を出しやすくなります。新しい根が出れば樹勢が良くなり花つきや、シュートの出方が良くなります。

バラの植え付けには、適さなかった場所や、今の植え付け地がバラに窮屈になっていたりした場合に行います。

12月～2月（バラの休眠期）に行う作業です。毎年、定期的に行う必要がある作業ではありません。

## 作業内容

### ①掘り起こし作業



植え替えるバラの外葉の沿って掘り起こします。



古いバラは、根バチを大きく、広くほります。植えつけて2年以内のバラをやもなく移植する際は、根バチを崩さない用にします。

### ②移植剪定・根切り作業



掘り上げた根の大きさや状態で移植剪定の強さが決まります。

株全体を100%とすると枝が40% 根が60%位になるように剪定します。



株の半分程度が目安です。葉が残っている場合は葉の上で剪定します。病気などで、葉が無い場合は芽のある場所の少し上で剪定します。



古くなったゴボウ根や傷つけた根を根切りします。根先から2～5cm程度切ります。ハサミを殺菌剤（1500倍で）消毒しながら根切りするのも根から入る病気予防に効果的です。

植えつけて2年以内のバラは出来るだけ根切りをしない。

### ③植え替え作業



移植地は広く、大きく掘ります。掘り上げたバラがすっぽり入る位が目安です。



移植するバラの根バチが少し浮く程度の深さで移植します。



掘り上げた土に牛フン・腐葉土等の有機肥料をよく混ぜて、その土で埋め戻します。埋め戻す際は、水をたっぷり入れながら2～3回に分けて埋め戻します。



移植したバラが動かないように支柱を、しっかり立てます。



移植作業完成



水バチは作らず軽めの散水。大量の散水は窒息の原因になります。

## 既存樹植え替えのポイント

12月～2月（バラの休眠期）に行う植え付けは、深植えにならないようにする。移植後の散水で株が窒息しない用に注意する。葉がない場合は特に注意する。  
5年以上同じ場所に植え付けられていて水をたっぷり入れながら埋め戻す（春に新しい葉が出だすまでは、週に1回程度、軽めの散水で）

\* 錦江湾公園バラ園での、作業方法及び作業内容です。

管理者 公益財団法人 鹿児島市公園公社